

◆文化課が市の文化財などを分かりやすく紹介◆

歴史民俗資料館 うきしろミュージアム



れきみん・虎の巻

とうのまき

・第九号・

なるほど!

私の推し展示

① 大賞はナウマンゾウ

うきしろミュージアムでは、来館いただいた皆さんに、他の人に薦めたい展示を募る「私の推し展示」を実施しています。令和7年度の一番人気は「ナウマンゾウ」でした。

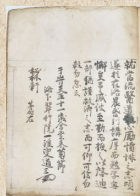
ナウマンゾウは約1万5千年前まで生息していた旧石器時代を代表する動物です。展示している巨大なイラストと本物の骨の化石は、「えっ? 日本に? 三原にゾウがいたの?」という驚きとともに、子どもを中心に多くの人に興味を持ってもらえます。

この他にも、大人気の「万体験」や「三原城の模型」などが「私の推し展示」として選ばれています。ぜひ資料館で実物を見てください。



② 県指定重要文化財 「紙本墨書啓迪集」

「啓迪集」は、戦国時代から安土桃山時代にかけて毛利元就の病気を治療するなどして活躍した名医・曲直瀬道三まなびのしやうりけんが書いた日本の医学史上極めて重要な医学書です。「啓迪」とは「教え導く」という意味で、道三が開いた医学校の名前でもあります。この「啓迪集」は、小早川隆景の侍医（主治医）を務めた水野松林軒が所蔵していました。現在は県の重要文化財に指定されています。7日（日）まで展示室3で展示しているので、この機会に訪れてください。



問 文化課

TEL 0848-64-9234

FAX 0848-67-5912